

遍照山

第59号

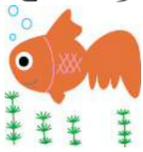
平成30年7月10日発行

暑い夏が来ますよ。

今年も、早いもので半年が過ぎました。月日というのはあっという間に過ぎ去り、年を取っていきます。年を取るとは素晴らしい事です。人生は、山あり谷ありであって、いろんな生活経験が、自分を豊かにしてくれます。そんな中に、喜びが生まれてくるのです。毎日、悔いのない人生を歩みたいものです。

向こう岸、つまり彼岸の生き方は、死後の世界のことではなく、二度と来ない人生を悔いなく生きるのだと思います。そしてそのことこそが、この私たちにいのちを伝えてくださったご先祖に対する最高のご供養になるのです。

もうすぐお盆のお墓参りが始まります。お墓の前で、「私たちが生んでくれてありがとう」「いい人生をおくっていますよ。」と報告したいものです。



禅定とは

「禅定」の言葉は、佛教の中で、最も大切な言葉です。その意味は、精神を統一して何物の妨げられない環境で真理を考えると辞書に記されています。お釈迦様が仏門に入り、ひたすら厳しい修行を行っても、悟ることが出来ずに、身を清め、食事を取り、菩提樹の切り株に座禅をして、長い時間、瞑想されて、気づかれたのが禅定の言葉ではないでしょうか。

そうして自分の心を安定させることに気づかれたのです。

いつ起きていい、いつ寝てもいい、いつ食事をしてもいいというふうな生活習慣がととのっていないければ落ち着きが作れるわけがありません。頭に血が

上つている姿を「愚かさ」といいます。のぼせが下がり、身も心も静かであって、その静かさを楽しむことにより、愚かさはなくなり、無心の状態になります。

ちよつとした時間でよいから、自らを省みて自分の行動に涼しい風を送り、ゆとりを持って物事の判断出来る心がもてるのではないのでしょうか。

お盆の過ごし方

お盆は、先祖の霊が里帰りをいたします。先祖様が喜んで帰られるように、迎え火をして、僧侶に読経をしていただき、ご詠歌を唱えて、先祖様と語りましょう。

仏壇の前に、精霊だなを作り、なすび、キュウリ、トマト、トウモロコシ、そうめんなど。そして御膳を供えて、迎えます。急いで帰ってもらえるように馬を用意します。それが「キュウリ」です。そして送り火、ゆつくり帰ってもらえるように牛を用意します。それが「なすび」です。そうめんは、幸せが細く長く続くようにと縁起を担ぐもので、お供えます。



お盆の行事予定

本堂のお掃除

八月 四日(土) 午前八時

女性の会の役員の皆様にお世話になります。

お墓参り

八月 五日(日) から始まります。

※午前五時ごろから、本堂を開けてお待ちしています。『出来ましたら十一時ごろまでに来てください。』

七日(火) 仁和寺、沖田他

八日(水) 馬場、南市他

九日(木) 南市、三田他

十日(金) 三田、南市他

十一日(土) 馬場他

十二日(日) 三田、南市 馬場他

十三日(月) 五時半 佐賀 七時 上寺

十五日(水) 午後三時 泰山寺

※電話などで調整させてもらいますのでよろしくお願いします。

棚経参り

八月十三日(月)

下古賀、西万木、庄堺、新旭、朽木、今津、南古賀他方面

八月十四日(火)

※朝五時ごろから夕方七時ごろになります。

盆参り

八月十五日(水) 午前六時より午前十一時

盆施餓鬼会参り

八月十五日(水) 午後一時半

馬場、法藏院参り

八月十六日(木)

他所の棚経参り

大津、京都、西ノ宮、尼崎、堺、泉大津方面

八月十六日 ～ 二十日 (月)

安曇佛教会の托鉢参り



八月十七日(金) ～ 二十一日(火)

※日程は、区の掲示板及び回覧板でお知らせいたします。

川柳

しみじみと 先祖を思う いい時間
お盆です いつでもそばに いてほしい
もう逢えぬ あなたにこれを 伝えたい

びんずる会の活動に参加しませんか

写経、奉仕、座禅をして、心の修養をします。皆様のご参加をお待ちします。参加してみようと思われの方は、ご一報下さい。

法話会

ご希望の方には、本堂開けてますので、連絡してください。「玉泉寺住職日記」のブログに毎日更新しておりますのでご覧ください。

発行者 高島市安曇川町田中三四五九

天台真盛宗玉泉寺 木村 哲基

電話 〇九〇—三七〇八—七二〇六

FAX (〇七七) 五〇二—二二七九

Eメール svka37375@eto.eonet.ne.jp

新Eメール info@gyokusenji.com

ホームページ 「滋賀高島石仏の玉泉寺」と「玉泉寺住職日記」をいっしょにご覧ください。